平成31（令和元）年度 福岡県立小倉商業高等学校 グランドデザイン

（モットー）　清く　明るく　健やかに　　（建学精神）　フロンティア・スピリット

清く・・・・・常に高邁な理想を掲げて努力するひたむきな姿、不正を許さない正義心あふれる高潔な人物の育成

明るく・・・・外見の明るさ、朗らかさ、内面的な賢明さ、洞察力（物事を見極める力）がある人物の育成

健やかに・・・健康で溌剌とした若人に育ち、内面的にも健全な精神を持った人物の育成

育成を目指す資質・能力

1　自己の目標に向け、自ら考え実行できる「前に踏み出す力」の知識・技術

2　ＡＩでは対応できない課題を発見し、商業人としての倫理観を踏まえ解決する力

3　商業教育で培った知識を更に深化させ、我が国経済の発展を主体的かつ協働的に取り組む態度

地域とともにある学校への転換、学校を核とした地域づくり

指導体制

・教務、進路指導、生徒指導、研修、学年、教科による指導

・企業、地方自治体（福岡県、北九州市）、大学（高大接続）、研究機関、ＮＰＯ、同窓会等との連携

本校の将来ビジョン

1　ＡＩ時代でも必要な商業人を育成するため、その教育活動の指標となる「商業教育の標（しるべ）」を構築する

2　何事にも積極的にチャレンジするフロンティア・スピリットを旨として、社会人基礎力を育み、国際的な視野に立って 地域で活躍する若者を育成する

3　郷土北九州の社会課題と地域課題を理解し、その課題を乗り越えるための「ビジネス地域創造」をめざし、持続可能な新しいビジネスを創造する

4　商業教育で培った知識を更に深化させ、地域はもとより、我が国経済を牽引するビジネスリーダーを育てるため、上級学校への進学指導に力を注ぐ

商業教育の標（しるべ）
ステークホルダーとの約束

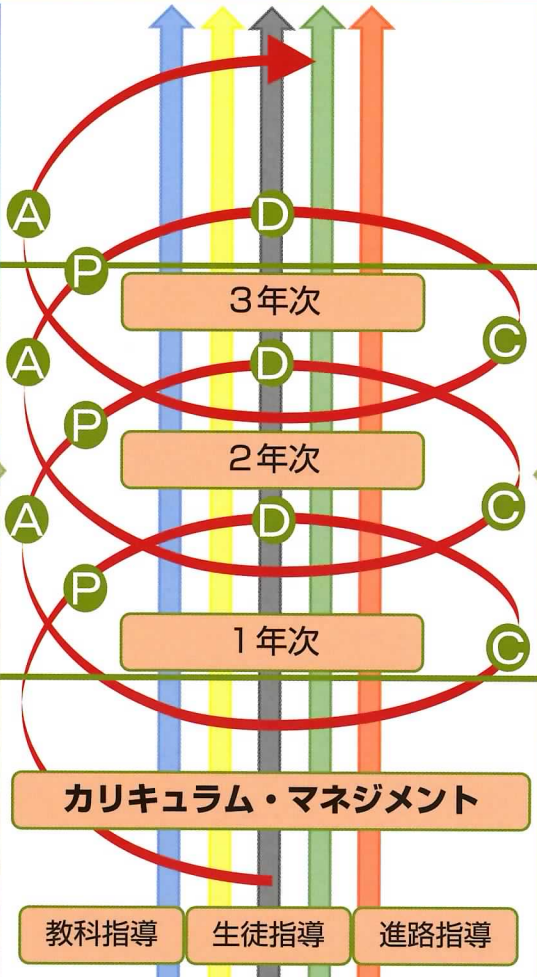
県下はもとより、全国の商業に関する学科を有する学校の指標となる「商業教育の標（しるべ）」の構築をめざす

また、特色ある教育活動を展開することで、生徒や保護者及び地域との約束である「期待に応える商業教育のブランド力」の確立を推進する

1　地域に評価と信頼を得て、中学生や保護者から「地域１番の入学したい学校」をめざす

2　商業教育九州一、部活動九州一をめざす（検定取得、競技大会、部活動等）

3 難関大学への挑戦、グローバル企業への就職をめざす



DP（ディプロマ・ポリシー）
本校を卒業するまでに、身に付けさせる力

1　高い志を抱き、自ら考え学び続ける力

2　本校のモットーである「清く・明るく・健やかに」を体得 し、豊かな心を持った人間力

3　地域はもとより我が国の経済を牽引するビジネスリーダー を目指す意欲

CP（カリキュラム・ポリシー）
本校が展開する教育活動

1　何ができるようになるか、どのように学ぶかが明確な授業

2　予習・復習を前提として日々学習成果を積み重ね、自学力が向上する授業

3　「成す事により学ぶ」実学を重視し、体験的活動により 達成感のある授業

4　専門科目を伸ばすための基盤である、共通教科の基礎学力を重視

5　主体的・対話的で深い学びを通じて、思考力、判断力、表現力を高める授業

AP（アドミッション・ポリシー）
本校が求める生徒像

1　明確な目的意識を持って学校生活に臨む生徒

2　本校の建学精神である「フロンティア・スピリット」を実践する高い向学心を有する生徒

3　商業教育に対する興味・関心を持ち、商業人としての資質の高揚に邁進する生徒

4　チャレンジ精神旺盛でかつリーダーシップが期待できる生徒

主体的・対話的で深い学びの実践

・授業改善の推進

・教科等を学ぶ意義と、教科等間、学校段階間のつながりを踏まえた教育課程の編成

・生徒の発達を踏まえた指導

・学習評価の充実

特別活動

・集団や社会の形成者としての見方、考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、人間関係形成、社会参画、自己実現を育む

主体的・対話的で深い学び　特別活動　商業教育・キャリア教育　総合的な探究の時間　部活動

総合的な探究の時間

・地域の良さを学びコミュニティを支える人材の育成

・社会課題、地域課題の自分ごと化と社会参画力

・人口減少、少子高齢社会に対応する持続可能な職業人の育成

部活動

・生徒の多様な学びの場として、学校教育の一環として教育課程との関連を図り、合理的でかつ効率的・効果的に取り組む

「鍛ほめ福岡メソッド」の実践

平成３１（令和元）年度の教育重点目標

・Ｓｏｃｉｅｔｙ５．０時代に対応する社会人基礎力を身に付けた商業人の持続可能な育成

・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた更なる授業改善と評価の見直し（間接評価の導入）

・「学び」の評価と「教える」デザインの構築によるカリキュラム・マネジメントの推進

・一人一人の学びの可視化（ポートフォリオ）と高大接続改革への完全対応

・成年年齢の引き下げに対応したシチズンシップ教育による社会参画力の育成